

# 金木だより

発行 青森県金木町役場

編集 企画室

昭和54年7月号



毎年旧暦の六月二十三、二十四日の両日に催される川倉賽野河原の例大祭は、十五日から開催され、県内外から参拝客が集まり賑わいを見せていました。

名物となった「イタコ」の口寄せも地藏堂の裏側で行われ、イタコの周りに集まる参拝客は「死者との対話」にすすり泣き、ローンクの灯、線香の煙など、異様な雰囲気の名状しがたい光景を現出していました。

# ママさんバレー

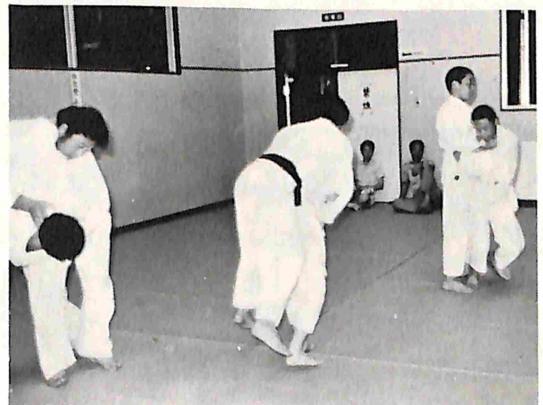
## 只今 特訓中

利用度高まる

### トレーニンングセンター

ドライブサーブが来た。「エイッ」と回転レシーブで受け、トスを上げる。アタッカーがジャンプし、ピシッという音と同時に相手コートにボールが突き刺さる。ママさんたちの目にもとまらぬ早技が続き、息はずむ声が体育室中にこだまする。

農業者トレーニンングセンターは、自然休養村整備事業により昨年建設され、四月中旬にオープンして以来みなさんに利用されています。ママさんバレー、青年団、空手愛好者、柔道、剣道などでセンターの日程表はいつも満配。日曜日には小学生がこぞって集まってくるかと。



設備にはシャワー室も更衣室のとなりであり、練習でかいた汗を流せます。ただし、これは暖房用のボイラーを運転しなければならぬので、使用期間を検討中ということです。また、センターからの要望として、使用した器具はきちんともとへ返す、支柱を使用する時は床にキズをつけないように気をつける節電を心がける、運動靴をはいて運動する、などがありました。

みなさんのセンターです。大切に使いましょう。

## 道路も整備されました

### フィールドアスレチックで

### 体をきたえよう

今年もフィールドアスレチックが四月からオープンしています。もうごらんになりましたか。

金木駅から東へ四・六帖大東ヶ丘のはずれに建設された『野営場』の附帯施設がそれです。

二十五ポイント、六百坪のこのアスレチックは、太宰コースと名付けられ、文

字どおり金木が生んだ作家太宰治の一生を現わしたものです。その中で人気のあるのが、「腕白ロープウェイ」「芦野公園ボート遊び」「金木川つり橋」「奴踊りロープウェイ」です。

現代っ子の特徴として体力がないといわれています。わんぱく教育で子供らを鍛えなおしてはいかがが…。

## 領収書や契約書と印紙税

### 印紙税

私たちは、毎日の生活のなかでいろいろな文書を作ったり、もらったりしていますが、このなかには印紙税がかかるものもあります。印紙税がかかる文書は、領収書や契約書・手形・商品券・預金証書・判取帳・委任状などいろいろな種類があり、また、印紙税額も預金証書や委任状などのように一通又は一冊ごとに定額のもの、契約書や領収書などのように記載された金額で税額が異なるものがあります。

印紙税は、文書を作った人が定められた収入印紙をその文書にはり、文書と印紙の両方にかかるように消印して納めます。

また、収入印紙をはる必要のある文書に

- ① 収入印紙をはらなかつたとき
- ② 少ない金額のものをはっていたとき
- ③ 消印をしなかつたとき、

は、過怠税(最低五百円)がかかります。なお、印紙

# 行政協力委員

## 決まる

今年度の行政協力委員は  
つぎのとおりです。

- 会長 宮崎初太郎
- 副会長 金三郎、木下俊蔵、三上菊次郎
- 〈金木〉(本町) 外崎慶造
- 〈栄町〉 松江正太郎(田町)
- 〈小野正昭(南新町)〉 山崎昭二(上山道町) 白川昭男(中山道町) 金三郎(下山道町) 小野元靖(美晴町) 須崎寅雄、白川勝征(昭和町一区) 村馬兼正(同二区) 小林輝男(神明町一区)
- 山崎惣三郎(同二区) 安田清光(朝日町一区) 阿部繁治(同二区) 青木茂男(北新町) 高橋勝治(小川町一区) 加賀谷正三(同二区) 福山光延(米町) 松江一雄(川端町) 徳田信二(寺町)
- 藤元昭造(芦野町) 鈴木又芳(浦町) 長尾兼政(新富町) 山田秀雄(若松町一区) 野宮真一(同二区) 工藤金蔵(同三区) 工藤義則(同四区) 白川民雄(見崎町) 金本正三(三軒町) 白

## やあは長です

町内会や宴会の席、あるいは家に立ち寄った折など意外と苦情やら要望事項を沢山聞くことがございます。中には幾年も前から抱いていた困りごと等も、その際開襟されま

す。もつと早く耳に入っ

ていたら、もつと早く実施できたのに——とい

う事柄もあります。投書箱、電話や手紙、直接おいでになるなど、豊か

に住みよい町づくりに、ど

しどし御意見や苦情をお

伝え下さい。

- 川勝雄(上沢部) 白川千代作(下沢部) 白川寛造(旭ヶ丘団地) 梶浦晴二(大東ヶ丘) 吉田美治(旭野団地)
- 福長久男(芦野団地一区)
- 工藤勝栄(同二区) 成田善蔵
- 〈蒔田〉(上蒔田) 吉田則昭(下蒔田) 田中賢三
- 〈神原〉(神原) 前田豊一
- 〈藤枝〉(上藤枝) 工藤善四郎(中藤枝) 工藤タマ(下藤枝) 工藤良村
- 〈川倉〉(湯の川) 三濁森蔵(林下) 白川久慶(向道)
- 泉谷イマ(女坂) 中谷孫一(上宇田野) 中谷一郎(下宇田野) 中谷幸江子
- 〈嘉瀬〉(雲雀野団地) 神島俊治(東町) 木立忠政(上小栗崎) 松川清治(中小栗崎) 神島忠雄(下小栗崎)
- 松川良治(上派立) 沢田清貴(中派立) 中村勇治(下派立) 木下俊蔵(上新町)
- 松川正衛(下新町) 今兼春(上昭和町) 沢田幸八郎(下昭和町) 白川正由(本町) 原田清治(冷水) 今喜代治(車町) 山中徳一(畑中) 秋元清逸(後町) 山中伊次郎(上古町) 山中武造(下古町) 平川常九(新誠

- 町) 秋元惣之進(新堤町) 小山内等(上鍛冶町) 木下全(下鍛冶町) 木村繁光
- 〈中柏木〉(上中柏木) 外崎誠二郎(下中柏木) 西村秀男
- 〈喜良市〉(更生部落) 藤本秀雄(西岩見町) 元石繁正(東岩見町) 小野良格(雄

- 林町) 西村昭八(野崎) 宮崎初太郎(北本町) 工藤武男(下派立) 三上菊次郎(上派立) 大橋藤一(南本町)
- 奈良兼雄(上柏木) 加藤弥一郎(下柏木) 中村利宗(下町) 今兵八郎(川端町)
- 今重雄(双葉町) 岡田道雄

## くらしに役立つ 簡保・年金からの融資

ふだんみなさんが積立している国民年金や簡易保険の積立金は、地方債としての事業の資金に融資されます。ですから、みなさんのお金で学校や団地が建てられているわけです。

五十三年度では、簡易保

除の融資で町営金木団地・喜良市小学校給食施設・金木統合小学校・農業者トレーニングセンターが、また国民年金の融資で金木第一保育所がそれぞれ建設され、みなさんに利用されています。



(金木統合小学校)



(喜良市小給食施設)

税は、文書の標題や名称に關係なく、その内容で判断することになっていますので、お分かりにならない点は五所川原事務所や税務相談室にお尋ね下さい。

### 年金受給者の住所

#### 支払機関が変わったら

#### すぐに手続きを

年金を受けている人が、住所や年金を受け取る銀行郵便局を変更したときは、すぐに「住所、支払機関変更届」を提出して下さい。

この届を忘れたり、遅れたりしますと、年金の支払月になっても支払の通知書が届かなかつたり、年金の受取りが遅れてしまうことになりま

届出用紙は、社会保険事務所や、役場町民課に備えてあります。

#### 提出先は次の通りです。

- ① 老齢、通算老齢年金については

- 東京都杉並区高井戸西3-5-24 社会保険庁年金保険部業務第2課宛

- ② その他、障害、母子などの年金については 役場町民課国民年金係宛

## 私の体験

# 一日消防士になって



田中 千春

四月十二日、七時三十分金木消防署からの出迎えの車に乗り込み、私は一日消防士としての一步をふみ出した。消防署に到着し、頭の前から足の先まで消防士の制服に着がえると、確かに制服が大きすぎて決してキリッとした様子はないが何か自分が本職の消防士になったような気がして、緊張や不安というよりもウキウキしたものが私には先だっていた。

勤務交代ということで二階から降り外に出ると、もう消防署員の人達が署長さんを前に、横に一列に並ん

でいた。さすがに本職ということで胸を張り、指先をのびし、きびきびとした態度で規律正しい。朝、こやかに「おはよう」とあいさつをしてくだつた人とは別人のように思える。点呼を終え、その場で辞令を受け一日消防士を命じられた後、車両点検を行った。この車両点検は一日に四度も行っているそうだ。いつでもいざというとき出動できるように細心の体制ができていないということ、私達の知らない小さなことでもこれほど心くばりがなされているのだと感心した。

次に、放水訓練を実施することになった。防火衣を身につけると、その重さでグツと肩から下へ崩れていくような気さえた。泉谷君とホースを手に持ち、車庫に水をかける体制を作る

ホースに水が通ると急に重くなり、ホースどころか自分が倒れそうになったが、署員の人にも手伝っていた。まずまずの成功だったように思えた。しかし、これが実際の火事現場であれば、よほどの体力を消耗するだろうし、人命を救助するのであるから、大変な仕事だ。本当に頭が下がる思いである。

放水訓練の後、通信室を見せていただいた。そこにはいたずら電話をした人とか、あわてて場所を言い忘れた人のために逆探知が取り付けられており、いろいろな説明でなるほど、と思い、万全な装置に心強い感じがした。その後、署長さんのお話を伺い、資料を見せていただいたりして、本部に向かうことにし、金木署をあとにした。

中里にある本部に到着すると、まず本部庁舎を見学した。かなり設備も整い、環境もよく明るい感じがして立派である。私達の町の金木署は、確かにこれほど立派ではなかったが、車の手入れなどに関しては、充

分力を入れていたのではなかっただろうか、などとそんなことを考え、各部屋を回った。議会議室に入り、津軽地区の火災の実態や原因について話を伺い、今度は酒田市の火災の様子のスライドを見せていただいた。画面が写るとそこにはもうもうと燃え上がる炎が鮮明に焼きついていった。しかしその炎の中で消防士達は、私達住民の生命を守り火災と格闘するのだ。自分の任務を果たすため、こんなに

ご苦労な仕事なんだと認識させられた気がし、と同時にその勇敢さに驚いた。その後アンケート調査を行ったのだが、私は普段、私なりの注意と心構えを持っていて。だから、そんな消防署員に間接的にも協力しているような気がしてうれしく感じた。

昼食をいただいた後にも消火器の種類や用途など詳しくわかりやすく説明して下さった。そんな中で私はいつの間にか火災や消防に関する関心とまた、消防署員に対する信頼心というものが高ぶっていったように

思える。

最後に、お世話になった本部の署長さんをはじめ、署員の人達にあいさつをし帰ることにした。帰りのジープの中で私は一日消防士としてのこの日を、ゆっくとまた思い出していた。予想以上の消防署の仕事の重大さ、手とり足とり親切に指導してくれ、署員と私達とのひとつの和のような



泉谷 賢二

四月十二日、僕は一日だけの消防士になった。

朝早く学校にきた。すると、もう迎えの車がきていたのでさっそく車に乗った。車の中では、もしわからないようなことを聞かれたらどうしようかという不安とあつちにいったらこんなことをするのだろうかなどといういろいろな想像で早くも緊張していた。

ものを見出し出したこと、そして思いもよらず他校の人達と仲良くなれたこと、そんな一コマ一コマが、一つずつゆっくりよみがえってくるのだ。今回の一日消防士では、そういう意味でも貴重な体験ができたし、消防という仕事を少しでも理解できたということで、意義のある一日であったと思う。

消防署へつくと、本物の消防士と同じ服を着、同じ靴をはいた。そして消防士さんと朝会にでた。そこで僕はとても感心したことがあった。それは、消防士のいう言葉、あいさつ、号令態度が、きびきびしてとても気持ち良かったということだ。

ぶじ朝会も終わった。次に放水訓練をした。いがいとホースは重く、その上、防火具を着たので、なかなか思うように動けなかった。放水訓練も終って、次は署内のすばらしい設備を見せてもらった。金木消防署には逆探知というものがあつて、火事だという電話がき

て事件のおきた場所を言わない時、こちらから逆に呼び出して現場を確認するときに使うものだそうだ。まるで警察署にきたようだった。

十時に中里の本部へ行つた。そこで渡されたプリントを見て驚いた。消防士さんは、早くいえば一日中ねむっていないようなものだった。夜の十時から翌朝六時ころまでねる時間だが、その間も火事にそなえてすぐ出動できるように仮眠の状態にいるということだ。消防士というものは大変な仕事だということがあらためてわかった。

その後、映画を見て昼食をこちそうになった。少し休みをとった後、また説明を聞いた。その説明から、火の燃える三原則などいろいろ貴重なことを学んだ。

三時ころ迎えの車がきたので、みんなにあいさつをかわして車に乗った。中里の本部で消火器の実施訓練をする予定だったのが、風が強いためにはやられなかったのが心のこりだった。

最後に、火事というものは

映画で見たとおり恐ろしいものだ。ですから火事をおこさないように私たち一人一人が日ごろよく火の元に注意し、火事をおこさないように心がけたいものだ。



中村 ますみ

金木消防署で感じたのは朝礼がとても規律正しく、車の点検にしても非常に厳しく行われ感心しました。それから、いろいろな説明を聞き、実際の消火作業を体験し、重い服をつけての行動は、とてもたいへんでした。

中里の本部へ向かう時は緊張がましていくようです。本部ではたくさんの方々が、火事の原因とか概況について話してください。消火器の使い方や、タバコで火事になることが多いので、火の始末に気をつけて火事をなくすようにしたいものです。

火の仕方なども自信がつくようになり、とても勉強になったと思います。

もっとも驚いたことは、酒田市の火事についての映画を見せられた時です。一軒から発生した火でも、どんどん広がり、とても恐ろしいものだと感じさせられました。山形県で発生した大火事はなにも気にはとめませんでした。一軒の映画館から出た火がちょうど風の向きに並んでいる商店街を道路三つ四つも通り越して焼き尽くしています。こんな大火事を二度とおこしたくないものです。実際火事というものを体験した人でなければ怖さはわかりませんが、私自身、一日消防士というものを経験してみたい。朝の交代のとき辞令をもらいました。



鳴海 智宣

「緊張」とにかく僕は最初から最後まで緊張していました。

金木消防署に到着し、制服に着がえてしまうと朝の交代がありました。僕達が見たところでは、前日から二十四時間勤務していた人との交代は省略されていた。朝の交代のとき辞令をもらいました。

次に、電話で火事ですとだけ言っただけで、そのときの状態を説明してくれました。「逆探知でダイヤルを回さなくてもその電話をかけてよこした家へ電話がいくので便利だな」と思いました。が、それ以前に火事の場合にはおちついて、火事の場合を教えるから切つて欲しいとも思いました。その次は、僕にとって一

番印象に残った水の放射でした。二人でしっかりとホースを握り水が出て来たときはずっと面白かったと思います。

それが終つてまた話を聞いてから中里の消防本部へ行きました。金木の署と違い、建物も新しく思っていたよりも大きいものでした。庁舎を見学してからフィルムを見ましたが、あんなに大きな火事になる前にどうして消すことが出来なかったんだらうかと疑問に思うことも少しありました。昼食の時は他校の生徒の顔もおぼえ、話をしたりしてとても楽しく過ごせました。消火器の使い方のところで本当に外へ出てやってみたかったという不満が残りました。質疑応答のときは完全に緊張してしまつて、途中でなにを考えていたかわからなくなつたりして全然質問まではいきませんでした。

最後に消防署に勤めている皆さん大変ご苦労様です。いつ発生するかわからない火事の見回りなど数々の努力を知つただけでも大変勉強になりました。このほか救急車出動の原則、火災の実態などの資料などありたいという気持ちでいっぱいです。火事のおそろしさを知りました。やはり消防署というものは消す消防よりも火事をおこさない消防という消防署でありたいというのには火のあと始末に気をつけて火事を出さないようにしたいと思ひます。

### マッチ一本火事のもと

火花はおとなといっしょに遊びましょう。寝タバコはやめましょう。ガスの元栓を確かめましょう。空気が乾燥しています。火の元にはじゅうぶんに注意をしましょう。

### まちの話題

◎金木ロータリークラブから中央公民館へ、演台一台、ステージ用水銀灯三基（一灯、時価三十万円相当）が寄贈されました。

福田元信氏（有限会社ふくだ社長）より、築地公園農業者トレーニングセンターへ、桜とくじやくひばの苗木四十本が寄贈されました。

ありがとうございます。いつまでも大切にに使わせていただきます。



◎行政相談が毎月5のつく日に役場で行われています。また当時、相談員の田村雄三さんが自宅で相談に応じていますので、お気軽にご利用下さい。

## 金木夜話

(7)

### 寺小屋と小学校

生前の父から聞いた明治初期の寺小屋や小学校のことなどを中心に、その当時のことを書いてみよう。

廃藩後の明治五五ころ、不動林に寺小屋を開いて、部落の少年に学問を教えた対馬徳之助という人があった。旧士族（津軽藩士）で、つれあいの方は旧会津藩士のながれという。この人は村の子供らに勉強を教えたり、村人に手紙を書いてやったり、また屏風を作り、絵も書くなどして、村人たちから、対馬の旦那

様と敬われた。現戸主村馬豊治氏はこの人の孫である。

父もこの方に習いにいったが、紙を買えなかったのでオシキ膳に砂を入れて、人差し指で「カラスノカ、スズメノス」と書き、終わるとまた膳をゆすって、さらに書くという方法であったという。

一年ほど対馬の旦那に習うと、学制発布になって、金木八幡宮の笹木千影先生宅の寺小屋が、そのまま金木小学校になった。父は七

歳で入学したが、年上の生徒もたくさんいたという。学校の窓は障子紙にローソクを塗って明りをとっていたが、半年ほどしてガラスに変わった。西山という先生がいて、ガラスとは教えずギヤマンといった。子供らはガラスが珍しく、息を吹きかけ指で落書をしたが、罰として授業が終わるまで外に立たせられた。（父はギヤマンとベースボールという言葉をこの西山先生からはじめて聞いたのを忘れなかった。二年目に体操が日課になり、境内に出てオイチニ、オイチニをやるのが楽しみだったそうだ。その数年後に八幡宮境内（高橋元弥氏宅の裏あたり）に、新たに小学校が建てられた。この小学校を卒業

# そびっコインタビュー

## 今月のテーマ

### 「私の趣味・夢」

蒔田小学校六年生に聞く

動物が大好き、フィルドアスレチックに自然動物園をつくるのが夢。

ピアノ。将来はそれを生かして旧児童館の先生になりたい。

もちろん羽自字、初段をこっています。

かわぐちちよみさん

おかだきはちろうさん

岡田ゆかりさん



町の人口と世帯数

男	7,265人
女	7,445人
計	14,710人
世帯数	3,887世帯
(S54.6.30 現在)	

(大橋 信之(浩) 喜良市  
白川百美子(喜美雄) 金木  
大石 稔(佐一) 喜良市  
今 真理子(喜代友) 嘉瀬  
小野 正道(ミ子) 喜良市  
笠井悠紀子(定雄) 柏村  
小林 秀男(幸作) 北海道  
宮越 晴美(巖) 金木  
一戸 良徳(傳) 鶴田町  
田中あや子(喜代司) 川倉  
吉崎 利春(重蔵) 嘉瀬  
渡辺 敬子(トメ) 五所市  
成田 正幸(友太郎) 金木  
成田 久子(忠衛) 金木  
長内 孝臣(建造) 金木  
藤本多佳子(清八郎) 藤崎町  
中村 剛希(建造) 金木  
永吉 和子(繁巳) 東京都  
大橋 重則(朝一) 喜良市  
刈込早智子(源治) 東京都  
山田 貞治(貞夫) 金木  
奥田 綾子(秀雄) 浪岡

(内海 清久(清吉) 嘉瀬  
酒井 秋子(政信) 愛知県  
福井喜八郎(健三郎) 喜良市  
磯野 和子(繁義) 金木  
前田 明弘(清五郎) 神原  
佐々木孝子(シゲ) 車力村  
永井 清美(廣晃) 横浜市  
村馬 功子(治清) 嘉瀬  
小磯 高市(仁市) 千葉県  
古川キサ子(金作) 喜良市  
田中千代治(金造) 中里町  
古川 和子(角雄) 喜良市  
山下 五郎(イチ) 山梨県  
白川 久江(政貞) 金木  
長谷地康隆(松次郎) 十和町  
奈良 敏子(勝美) 喜良市  
今 行政(喜代作) 嘉瀬  
高橋まり子(義就) 五所市  
野呂 金雄(慶蔵) 木造町  
太田宇伊子(昌三) 金木  
菅原貴久男(久子) 愛知県  
古川 涼子(角視) 喜良市  
日向 政明(萬蔵) 静岡県  
山田 礼子(文吉) 金木  
千葉 憲彦(正英) 黒石市  
白川麗美子(栄一) 川倉  
白川 六助(泰直) 金木  
桑田千代子(一男) 喜良市  
角田 達夫(クニ) 金木  
小泉由理子(時夫) 茨城県  
山川 寿夫(金夫) 金木  
奈良よし子(俊視) 中里町  
斎藤 長蔵(石太郎) 五所市  
山中 レコ(文蔵) 嘉瀬

(小野 廣志(正一) 青森市  
今 順子(忠造) 喜良市  
秋元 末吉(勇次郎) 川倉  
高橋由利子(治三郎) 埼玉県  
野崎 卓夫(秀之助) 金木  
長澤恵美子(武治) 五所市  
五月届出分)  
徳田 兼光(雄吉) 蒔田  
山本美枝子(吉助) 蟹田町  
松田 守可(真吉) 静岡県  
山川 富子(金夫) 金木  
松尾 勉(正一郎) 金木  
遠藤ゆみ子(重義) 福島県  
三上 仁(兼次郎) 中里  
神島 公子(勝雄) 嘉瀬  
木村 治(治義) 嘉瀬  
中村みどり(義治) 中里町  
伊藤 哲徳(徳衛) 嘉瀬  
中西 金江(六三郎) 黒石  
葛西 総司(彦一) 柏村  
三上 正子(一男) 嘉瀬  
中村 健樹(健司) 金木  
鈴木恵美子(定一) 青森市  
木村 剛彦(良二) 青森市  
今 きみ子(武美) 嘉瀬  
今 武美(武七) 喜良市  
米塚 英子(進) 中里町  
木下 実(晋蔵) 嘉瀬  
松川きり子(竹新) 〃  
松川 久美(巻雄) 嘉瀬  
大川ヨツ子(与市) 中里町  
山本 隆美(義雄) 木造町  
角田 敦子(善一) 金木

(石井 啓規(一照) 東京都  
野呂 明子(欣一郎) 金木  
若原 邦道(邦夫) 札幌市  
斎藤 裕子(義正) 嘉瀬  
山田 民男(文次郎) 金木  
奥崎ひとみ(定敏) 青森市  
小林 秀春(秀一) 中里町  
加藤きみえ(實) 喜良市  
古川 隆雄(忠蔵) 喜良市  
工藤久美子(長一) 五所市  
佐々木清光(俊雄) 金木  
高木 裕子(貞通) いわき  
長内 実(定吉) 車力村  
神島 元子(秀信) 嘉瀬  
古川 均(徳蔵) 中里町  
鳴海 絹子(兼雄) 嘉瀬

(小梶 延一(文治) 大阪市  
中村 典子(正市) 金木  
田中 博(二郎代) 金木  
宮木 光子(親直) 長野県  
斎藤 友良(徳衛) 喜良市  
奥山 悦子(孝二) 旭川市  
中村 巡(政信) 嘉瀬  
曳地 淳子(三平) 福島県  
田中 弘明(直行) 金木  
加藤 幸子(しげ子) 千葉  
白石 盛光(盛雄) 埼玉県  
土屋 裕子(五一) 金木  
小川 隆(正) 金木  
白瀬 恵子(孝友) 五所市  
松川 勝男(竹新) 嘉瀬  
須崎八重子(安政) 〃



おみやみ  
申しあげます

(四月届出分)

工藤 キミ(78) 嘉瀬  
今 世治(44) 喜良市  
前田 由雄(78) 神原  
津島市太郎(87) 金木  
原田 ヨミ(79) 嘉瀬  
高橋 操(65) 喜良市  
山中 ちよ(94) 嘉瀬

(五月届出分)

桑田 マサ(73) 喜良市  
新岡 サト(74) 金木  
桑田 サワ(99) 喜良市  
今 彌太郎(71) 〃  
吉田 七郎(83) 蒔田  
沢田 一郎(48) 嘉瀬  
小山内繁四郎(70) 〃  
白川 勇(44) 金木  
村馬つえ子(0) 川倉  
阿部 慎吾(0) 嘉瀬  
白川 軍一(49) 金木  
伊藤林次郎(74) 嘉瀬  
鳴海 善八(78) 〃  
棟方 治(30) 喜良市

編集後記

町内一円に無線放送施設の建設が、五千万円ほどで計画されています。これは役場庁舎に本部を置き、町内各所に設置されるトランペットへ電波を流して、お知らせ、災害情報等を伝えるものです。これまでの回覧板と違い、町内一斉に伝わりますのでとても便利です。

また、芦野公園内の太宰碑が建っている岬から東側の対岸まで、つり橋の建設も予定されています。これにより芦野湖(藤枝溜池)周辺を一周するコースができ、散歩には絶好の場所になります。

交通の便も、中柏木から飯詰への県道、喜良市から青森市内真部への県道の二本の改良工事が行われています。青森市まで車で四十五分で行ける日がくるのも遠くありません。観光の町『金木』がいま生まれようとしています。

(雑談)